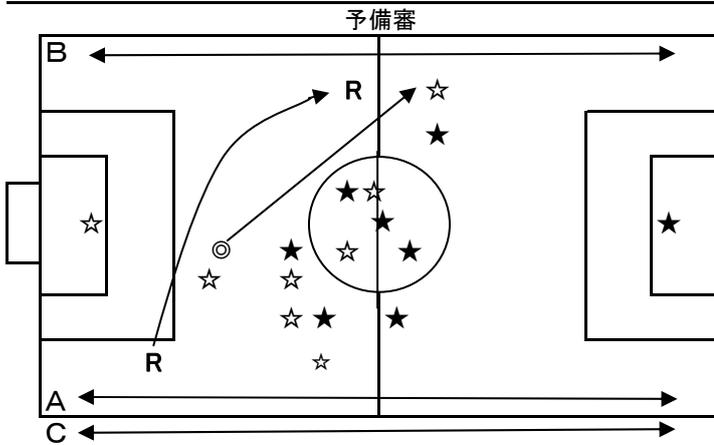


1人制審判の動き

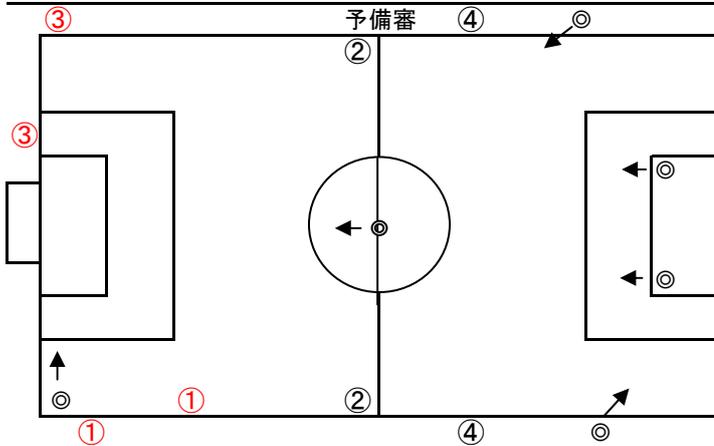
1人制の趣旨は、少年プレーヤーのフェアプレーの精神を養う事にある、レフリーが学ばなくては成功は無い！！



審判法(11人制の主審・副審の動きの併用)

- ①プレーに影響を与えないポジショニング
Aの様なタッチライン付近を走るが、プレーの状況に応じてBの反対側を走行しても良い。
タッチライン付近のプレーに影響があると感じた場合はCの様にラインの外を走る事もある。
- ②プレーの争点やプレーの進行方向入らない様に注意し展開を見ながら反対側へ移動する。

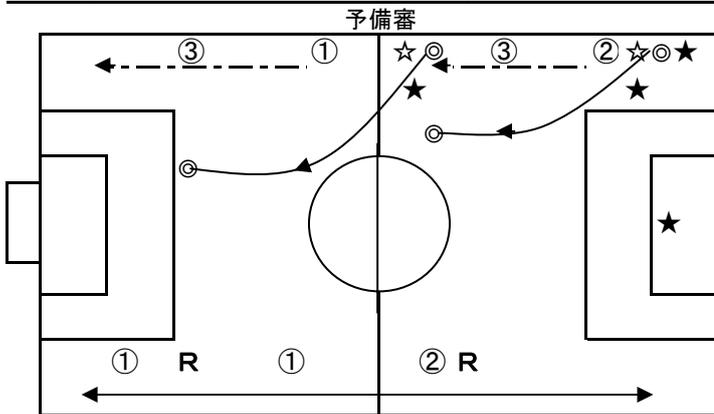
参考・ ☆★(プレーヤー) ◎(ボール) R(レフリー)



レフリーのリスタートのポジション

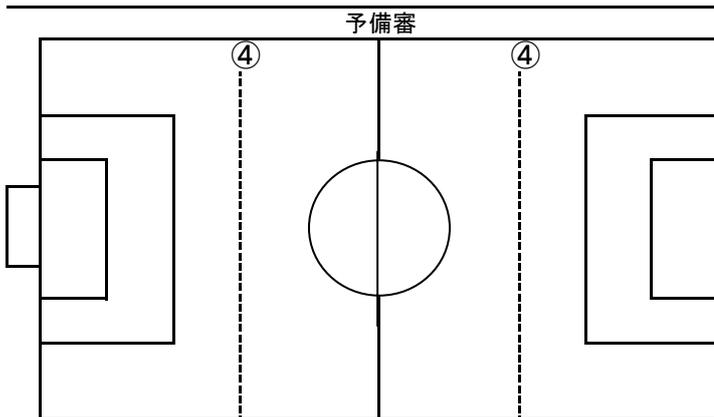
- ①キックオフ= 次の展開を意識したポジション
- ②ゴールキック= 展開を意識し移動する。
- ③コーナーキック= 反対側の副審の位置か走力が有れば、争点を監視できるゴールライン上
- ④スローイン= 近いタッチライン付近で監視。

一方の対角線だけではなく状況に応じてより良いポジションに移動を繰り返し行う。



反則の対応

- ①反対側からでも常に反則が行われる事を意識して何時でも対角線に移動できる準備をして置く。
- ②ゴール付近は反則が発生し易い為選手に影響の無い様なポジションを取る。
- ③ボールの移動に応じて、判定により良いポジションを取る。



判定のキーポイント

- ①選手の安全を第一と考える。
- ②疑わしきは罰せずの考え方を持つ。
- ③各ラインの内外を意識する。
- ④オフサイドラインを意識する。
- ⑤1人制である事から、良く動き良いポジションを確保する。
- ⑥アウトオブプレー時は選手の判断を確認しながら慌てずに方向の指示をする。
- ⑦選手、指導者、父母等の異議や不満等には大会の趣旨を考え積極的に対応すること。
- ⑧間違いは何処でも起こるが、次の再開を行わなければ、元に戻せる。

8人制(1人制審判)の大会の成功に向けて

2B運営委員会

第26回フェアプレージュニアサッカー大会の決勝大会に於いて1人制審判を採用致しました。表記大会は当所からブロック予選から1人制審判で行うよう大会要項に記されておりました。がしかし、1人制審判の育成等準備が成されてなく採用した際は混乱を招くのではとの意見も有り、当ブロックでは最終日の決勝大会にのみ採用致しました。表記大会は来年度は27回を迎えます。大会の趣旨はフェアプレーを強調しており、全ての選手、指導者、父母も含めその精神を学ばなくてはなりません。今回再開される3年生大会はその前哨戦とも言えるべき大会と位置づけております。全ての関係者が少年育成に理解を示し、真のフェアプレーの精神を学び子供達の模範に成るよう期待しております。

競技規則、相手競技者、審判を尊重することによってのみ、
サッカー競技がフェアプレーの精神にのっとなって競技される。

フェアプレーの精神は少年サッカーに携わる全ての関係者が遵守しなくてはならない競技を成功させる為にも最も大切なものです。昨今は結果を求めるあまり大会が進むにつれ指導者が大声で怒鳴り、それを助長するかのよう父母までがネガティブな発言を繰り返しています。少年育成は勝つ事も勿論大切な事ですが、其れよりも、優先させなくては成らないのが健全で心身の豊かな成長を図ることに有ります。子供の自立したプレーは近い将来、迎えるであろう社会人として最も必要とされる大切な要素が含まれております。姉妹のピアノの発表会で大声で声援するでしょうか。全ての演奏を最後まで静かに聴き拍手を贈ると思います。自チーム自分の子だけに声援を送る？サッカー先進国では有り得ない光景です。我慢をすることも育成には大切な事ではないでしょうか。

大人の励ましの声は子供達にとって最大のエネルギーになる
大人の焦りの声は子供達にとって大きなマイナスでしかない。

3年生大会の注意点

全ての関係者は大会の趣旨を理解し、会場ごとに目的達成にご協力をお願い致します。

審判員各位

- ①目的はフェアプレーを学ばせる事にあります。主審が目立ち過ぎないように判定には一拍遅れる位の判断が望ましい。
- ②アウトオブプレーでは、明らかに間違った判断を選手がしていない限り、選手たちの行動を優先させて下さい。
- ③接触プレーには細心の注意をお願いします。自分身体で相手を崩してからボールを奪うのは違反行為です。
- ④選手だけではなく、指導者、父母等のフェアプレーにも細心の注意を払って下さい。

指導者各位

- ①大会の趣旨を充分理解して大会に臨んで下さい。選手は下より父母等の応援には、事前にご指導頂きます様お願い致します。
- ②良いプレー、良い行いは褒め。違反行為は注意を促す。失敗は責めずに見守る。
- ③「マイボール！オフサイド！」「急げ！早くしろ！」「パス！シュート！」「何やってんだよ～！」
子供達はこんな声援は期待していません。
- ④フェアプレーの精神の審判員への敬意を忘れずに。審判を一人で行う事の趣旨を理解しましょう。

(文責 森進)